

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	スマイルかつら		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日	～	2026年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数) 54
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日	～	2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性のある職員が多い。 多職種が1つのチームとして連携しながら療育を行っている。	・多職種が違いを乗り越えお互いの良さを発揮していけるようなチームワーク調整 ・内部研修(初任者研修やスキルアップ研修など)の実施	職員の専門性の向上のためにミニカンファレンスを随時実施する。
2	関係機関と連携をしながら支援を実施している。	園訪問や園の先生に療育での様子を見ていただく、電話等での情報連携	より頻度を上げていく
3	広いオープンスペースで療育を行っているため、児童同士が接点を持ちやすい。	空間を共有して遊ぶことにより、他児を意識し、興味を持ち、集団に参加するきっかけを作ることに意識的に取り組んでいる。オープンスペースのデメリットとして情報量が多くなることで集中しにくい点があるため、アコーデオンカーテンやマット等を利用し活動に応じた環境調整の工夫に取り組んでいる。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員が忙しく、ミーティングの時間を作るのに工夫が必要なこと	業務が多岐にわたっている	役割分担をしているが、その都度声を掛け合って、できる人が動くようにしている。
2	作業療法士がいない	求人が必要な人に届いていない	・地域の関係機関と連携して作業療法士の事業所訪問をお願いして見学いただき、アドバイス等をいただいている。 ・一般社団法人京都府作業療法士会や求人サイトで作業療法士を募集している。
3			